

# ゴムの先へ。 はずむ未来へ。

私たち住友ゴムは、ゴム素材の可能性を誰よりも信じ、さまざまな「世界初」をつくり出してきました。

ジョン・ボイド・ダンロップが世界で初めて実用化した「空気入りタイヤ」から始まったその技術は、タイヤのみならずゴルフ・テニスなどのスポーツ用品や、制振ダンパー・医療用ゴムといった産業品開発につながり、現在も未来をひらくイノベーションとして発展を続けています。

私たちのイノベーションが、製品・サービスとなり、社会のさまざまなシーンで活用され、皆様に「はずむ心」「はずむ笑顔」をお届けできるように。私たちはこれからも挑戦し続けます。

## 住友ゴムグループの価値創造

住友ゴムグループの事業展開	3
住友ゴムグループの企業理念体系「Our Philosophy」	5
Purposeと「Our Philosophy」浸透活動	7
成長の軌跡	9
価値創造モデル	11
住友ゴムグループの経営資源	13
住友ゴムグループの重要課題(マテリアリティ)	15
ESG経営のロードマップ	17
住友ゴムグループのリスクと機会、バリューチェーン	19
TOP COMMITMENT	23
過去の振り返り	29
新中期計画(2023-2027年)の骨子	31
2022年度連結業績サマリー	32

## 住友ゴムグループの価値創造の実践

財務担当役員メッセージ	33
タイヤ事業	35
スポーツ事業	41
産業品事業	45
技術開発担当役員鼎談	49

## 住友ゴムグループのESG経営

ESG担当役員メッセージ	53
サステナビリティ長期方針	
「はずむ未来チャレンジ2050」とは	55
タイヤ事業における循環型ビジネス(サーキュラーエコノミー)構想「TOWANOWA」概要	56
TOWANOWAが生み出す提供価値	57
環境への取り組み	59
人事担当役員メッセージ	67
人的資本に対する取り組み	69
ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)鼎談	73
コーポレート・ガバナンス	77
社会への取り組み	90
2022年の目標と実績	91
社外からの評価・認証の取得	93

## コーポレート・データ

財務・非財務データセクション	95
第三者検証報告書	99
第三者意見	100
グローバルネットワーク	101
投資家情報	102

### 編集方針

本報告書は幅広いステークホルダーの皆様に、住友ゴムグループの持続的な成長に向けた取り組みをお伝えすることで、新たな対話の機会を創出することを目的としています。2023年は、ESGに関するさらなる情報開示に取り組みました。本報告書に掲載されていない、企業としての普遍的な取り組みやさらに詳しい活動情報については、当社Webサイトで情報を入手いただけます。

### 対象組織

住友ゴム工業(株)、国内6工場を中心に、一部国内外の拠点や関係会社の情報を含みます。

### 参考にしたガイドライン

- 経済産業省「価値協創ガイドランス2.0」
- IFRS財団「国際統合レームワーク」
- GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

### 対象期間

2022年度(2022年1月1日~12月31日)を中心に、一部期間外の情報を含みます。

### 発行 2023年7月

### 第三者意見

報告書に対する客観的な評価を取り入れていくために、識者からの意見を掲載しています。▶P.100

### 情報開示体系

住友ゴムグループをご理解いただくために、企業情報、財務情報、事業活動、サステナビリティ活動をWebサイトに掲載しています。統合報告書は、各項目の重要な情報を選別して掲載しています。

